

**フロン類算定漏えい量報告・公表制度 報告書作成支援ツール
～旧バージョンから新バージョンへのデータ移行
及び報告結果の比較についての手引～**

本手引について

本手引は、以下の(1)及び(2)の手順について解説したものです。

- (1)報告書作成支援ツールの旧バージョンで作成した前回報告時のデータを、新バージョンへ移行する方法
- (2)新バージョンで作成した今年度報告する昨年度算定漏えい量報告書データと前回報告時のデータを比較する方法

本手引では、2018年度にver.2.3で作成した、2017年度算定漏えい量の報告書のデータをver.2.4に移行する方法、及び2019年度にver.2.4で2018年度算定漏えい量の報告書データを作成し、2017年度算定漏えい量報告書データと比較する方法について解説します。

なお、ver2.3以前で作成したデータをver2.4に移行する場合も同じです。

なお、2018年度算定漏えい量以降の報告書データ作成においては、ver2.4を用いてください。

2018年度算定漏えい量報告書作成について(全体像)

①2017年度算定漏えい量の報告書データをエクスポート

1 2017年度算定漏えい量の報告書データをエクスポート

ver.2.3(前回の報告書作成時に用いたバージョン)のメインメニューを開き、ver.2.3で作成した2017年度算定漏えい量の報告書の事業所情報のデータをエクスポートし、ファイルに保存します。

4. 事業所情報のエクスポートまたはインポート

登録した事業所情報をExcelファイルでエクスポートすることができます。
またエクスポートしたファイルをインポートすることができます。



5. 報告書の作成、出力

(1) 報告書出力前に、報告書出力前チェックを行います。

報告書出力前チェック

(2) 今年度報告対象となっている冷媒を確認する場合は、「前回報告結果との比較(事業者全体)」

前回報告結果との比較
(事業者全体)

(3) 報告書を出力します。

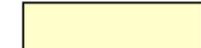
報告年月日を任意で設定する場合

報告年月日 2019年5月

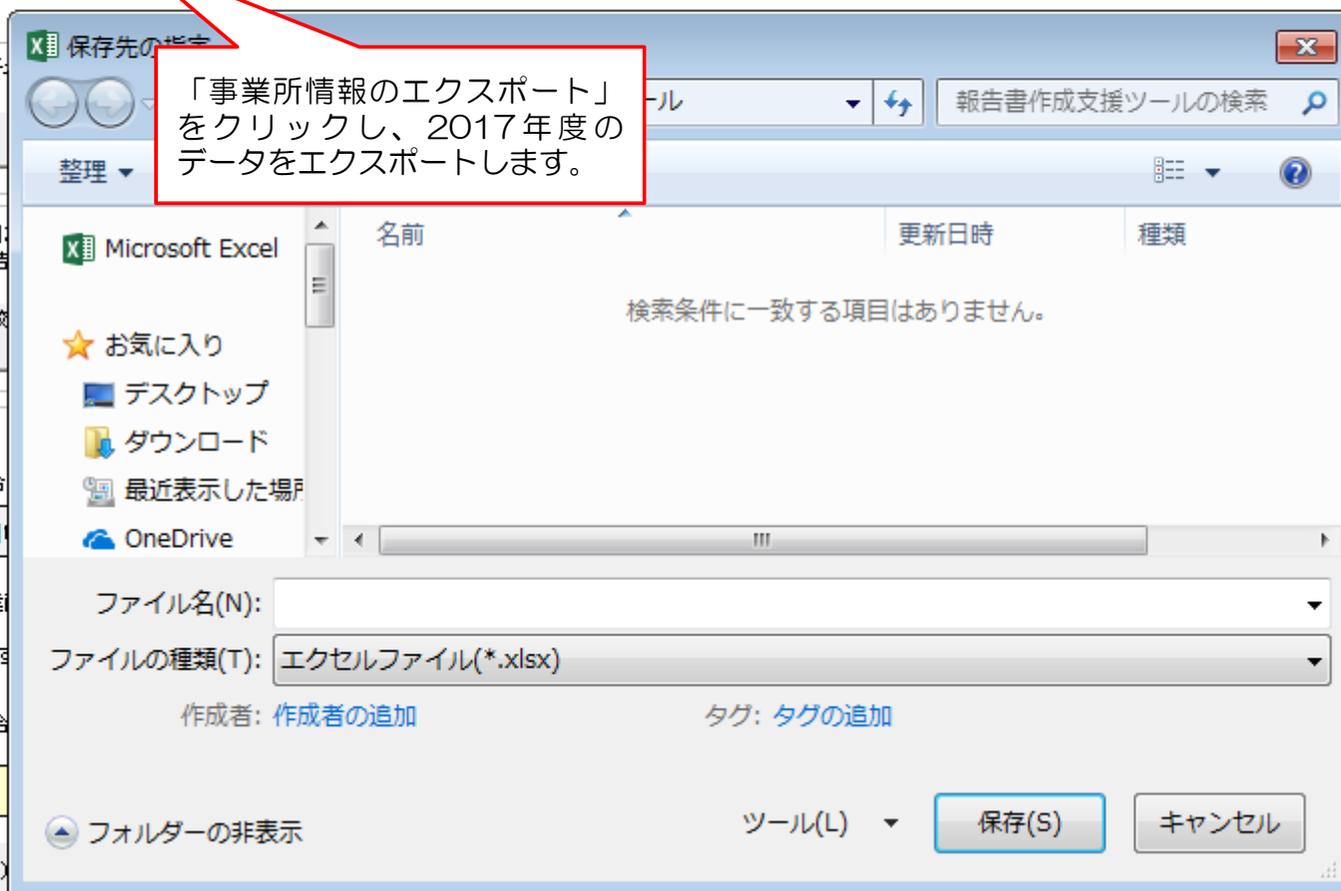
紙で提出する場合はあて先の事業所を押してください。
フロン法電子報告システムで提出する場合は、

紙で提出する場合

あて先



様式第1(印刷出力)



②GWPの確認・変更(⇒2018年度報告用)

2 GWPの確認・変更

ver.2.4を開きます。インポートされているGWPの報告対象となる年度を確認してください。

フロン類算定漏えい量報告・公表制度 報告書作成支援ツール

ver.2.4

1. 漏えい量の算定対象年度の入力

西暦

2018

年度分の入力

漏えい年度（報告日の前年度）を入力してください。

例えば、2019年7月31日までに提出する報告書の場合は2018年度です。

GWP（地球温暖化係数）の更新

現在、本ツールに登録されているGWPの年度情報は下

報告年度のGWPIになっていない場合はフロン排出抑制法ポ

(<http://www.env.go.jp/earth/furon/>) からGWPの更新フ

GWPの更新

2019年度報告

用のGWP

2019年7月31日までに提出する報告書の場合は、2019年度報告用のGWPをお使いください。

このように表示されている場合、2019年度報告用のGWPが入っています。

2. 事業者情報を入力

事業者情報の入力・編集シートで事業者情報を入力します。

[\(1\)事業者情報の入力・編集](#)

リンクをクリックすると、入力シートに移動します。

2 GWPの確認・変更

ver.2.4に1でエクスポートした2017年度算定漏えい量の報告書データをインポートできるように、2018年度報告用のGWPをインポートし直します。

フロン類算定漏えい量報告・公表制度

報告書作成支援ツール

1. 漏えい量の算定対象年度の入力

西暦 年度分の入力

GWP(地球温暖化)

現在、本ツールに登録

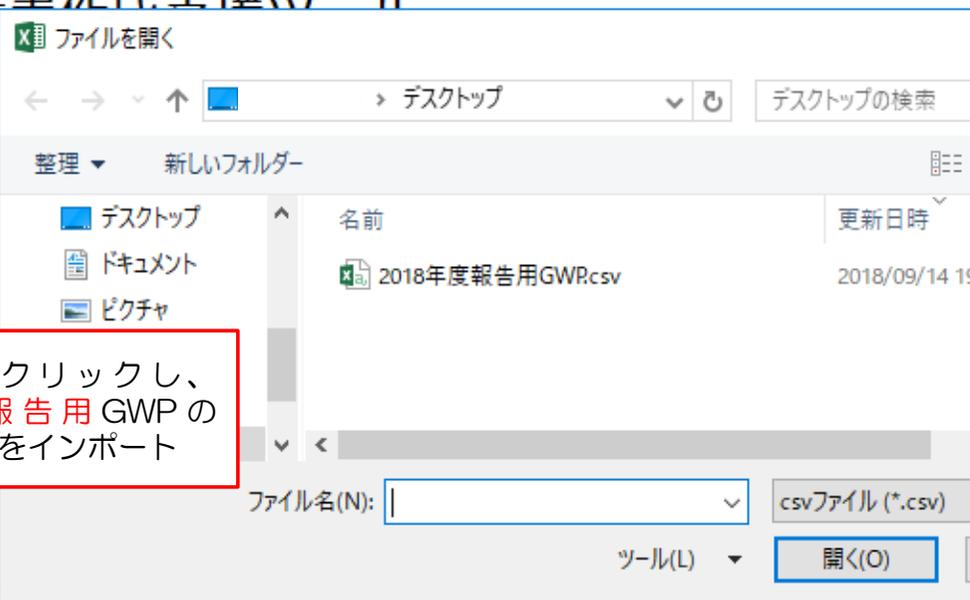
報告年度のGWPIになっ

(<http://www.env.go.jp/ea/...>)が

GWPの更新

GWP更新をクリックし、
2018年度報告用GWPの
CSVファイルをインポート

2019年7月31日までに提出する報告書の場合は、2019年度報告用のGWPをお使いください。



2. 事業者情報を入力

事業者情報の入力・編集シートで事業者情報を入力します。

(1)事業者情報の入力・編集

リンクをクリックすると、入力シートに移動します。

2 GWPの確認・変更

2018年度報告用(2017年度算定漏えい量報告用)のGWPとなっていることを確認します。あわせて漏えい量の算定対象年度を確認し、2017年度分に修正します。

フロン類算定漏えい量報告・公表制度

ツール

ver.2.4

2018年度分になっていた場合、
2017年度分に修正します。

1. 漏えい量の算定対象年度への入力

西暦

2017

年度分への入力

漏えい年度(報告日の前年度)を入力してください。

例えば、2019年7月31日までに提出する報告書の場合は2018年度です。

GWP(地球温暖化係数)の更新

現在、本ツールに登録されているGWPの年度情報は

報告年度のGWPIになっていない場合はフロン排出抑制法

(<http://www.env.go.jp/earth/furon/>)からGWPの更新ツールをダウンロードしてください。

GWPの更新

2018年度報告用のGWP

2018年度報告用のGWPと
なっていることを確認します。

2019年7月31日までに提出する報告書の場合は、2019年度報告用のGWPをお使いください。

2. 事業者情報を入力

事業者情報の入力・編集シートで事業者情報を入力します。

[\(1\)事業者情報の入力・編集](#)

リンクをクリックすると、入力シートに移動
します。

③2017年度算定漏えい量の報告書データをインポート

3 2017年度算定漏えい量の報告書データのインポート

1でエクスポートした2017年度算定漏えい量の報告書の事業所情報データをインポートします。

4. 事業所情報のエクスポートまたはインポート

登録した事業所情報をExcelファイルでエクスポートすることができます。
またエクスポートしたファイルをインポートすることができます。

事業所情報のエクスポート

事業所情報のインポート

「事業所情報のインポート」
をクリックし、2017年度の
データをインポートします。

5. 報告書の作成、出力

(1) 報告書出力前に、報告書出力前チェックボタンを押して、記入漏れを確認します。

報告書出力前チェック

(2) 今年度報告対象となっている冷媒について、前回報告した冷媒と確認する場合は、「前回報告結果との比較」ボタンを押してください。

前回報告結果との比較
(事業者全体)

(3) 報告書を出力します。

報告年月日を任意で設定する場合には右側に入力して下さい。

報告年月日 (自動)

紙で提出する場合はあて先の事業所管大臣をプルダウンメニューから選択してください。
フロン法電子報告システムで提出する場合は『提出用ファイル』を選択してください。

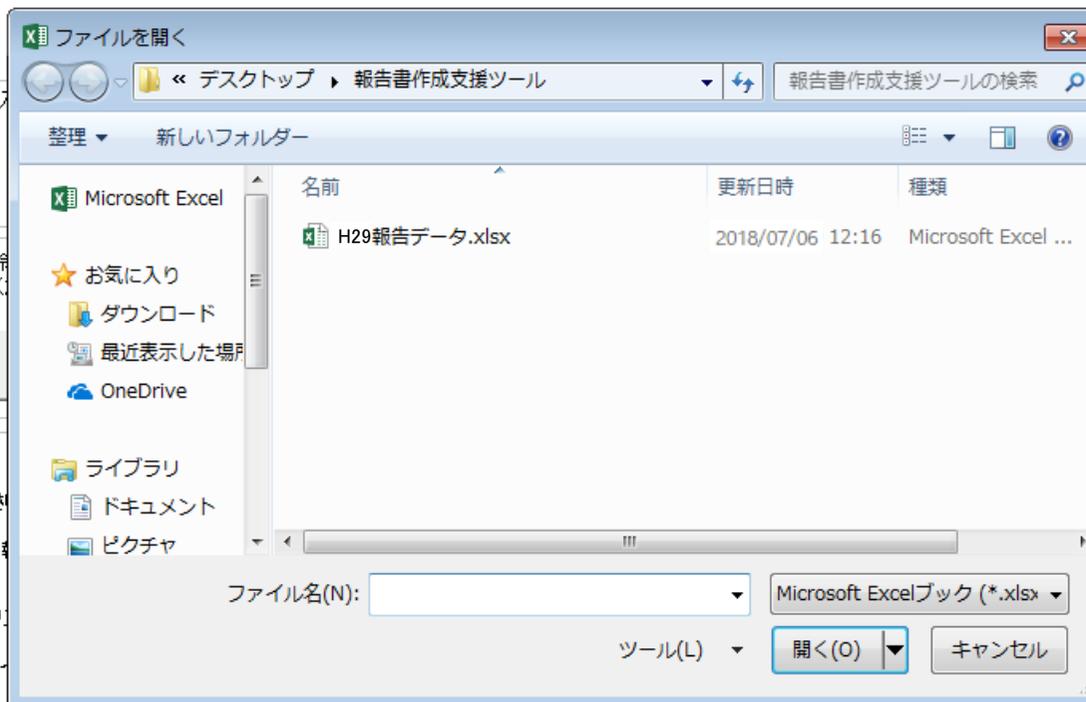
紙で提出する場合

あて先

様式第1 (印刷出力)

フロン法電子報告システムで
提出する場合

提出用ファイル
(XMLファイル)の出力



3 事業者情報の入力

ver.2.3から、事業者情報について、コピー&ペーストで引き継ぎます。

[メインメニューに戻る](#)

事業者情報の入力・編集 ※は入力必須項目

「事業者情報の入力・編集画面」に、ver.2.3で入力した情報をコピー&ペーストします。

※コピーできるのは、入力部分のみです。入力欄以外のセルを含んでコピーすると、ペースト時にエラー表示となるので、ご注意ください。

| | | | |
|-----------|----------------------------|---|------|
| | 100 | - | 0013 |
| | かんきょうとちよだくかすみがせき | | |
| 住所※ | 東京都千代田区霞が関 | | |
| (ふりがな)※ | かんきょうかぶしきがいしゃ | | |
| 法人名※ | 環境株式会社 | | |
| (ふりがな)※ | だいひょうとりしまりやくしゃちょう かんきょうたろう | | |
| 代表者役職・氏名※ | 代表取締役社長 環境太郎 | | |
| (ふりがな) | かんきょうほんぶちょう かんきょうじろう | | |
| 代理人役職・氏名 | 環境本部長 環境二郎 | | |

事業者の情報

| | |
|-------------|---------------|
| 特定漏えい者コード※ | 999999998 |
| (ふりがな)※ | かんきょうかぶしきがいしゃ |
| 特定漏えい者の名称※ | 環境株式会社 |
| 前回の報告における名称 | |

④前回分データの保存

4 2017年度算定漏えい量の報告書データの保存

2017年度算定漏えい量の報告書データを確認したら、メインメニュー「現在の入力内容を報告結果として保存」をクリックし、報告書データを保存します。

※クリックすると、データが支援ツール上に保存され、前回報告結果との比較の際に、「前回報告結果」のデータとして反映されます。

5. 報告書の作成、出力

- (1) 報告書出力前に、報告書出力前チェックボタンを押して、記入漏れ等がないかチェックを行ってください。

報告書出力前チェック

- (2) 今年度報告対象となっている冷媒について、前回報告した冷媒別都道府県別算定漏えい量と比較して確認する場合は、「前回報告結果との比較」ボタンを押してください。

前回報告結果との比較
(事業者全体)

前回報告結果との比較
(特定事業所)

- (3) 報告書を出します。

報告年月日を任意で設定する場合には右側に入力して下さい。

報告年月日 2019年5月12日 (自動) 報告年月日 (任意)

紙で提出する場合はあて先の事業所管大臣をプルダウンリストから選択してから、各様式の『印刷出力』ボタンを押してください。
フロン法電子報告システムで提出する場合は『提出用ファイル(XMLファイル)の出力』ボタンを押してください。

紙で提出する場合

あて先

様式第1(印刷出力)

様式第2(印刷出力)

フロン法電子報告システムで
提出する場合

提出用ファイル
(XMLファイル)の出力

「現在の入力内容を報告結果として保存」をクリックし、2017年度のデータを保存します。

- (4) 次年度以降に過年度報告結果との比較を行うため、現在の入力内容を報告結果として保存します。

現在の入力内容を報告結果として保存

保存されている報告結果

年度漏えい量

4 2017年度算定漏えい量の報告書データの保存

データが保存されると、「保存されている報告結果」に、年度が表示されます。

5. 報告書の作成、出力

- (1) 報告書出力前に、報告書出力前チェックボタンを押して、記入漏れ等がないかチェックを行ってください。

報告書出力前チェック

- (2) 今年度報告対象となっている冷媒について、前回報告した冷媒別都道府県別算定漏えい量と比較して確認する場合は、「前回報告結果との比較」ボタンを押してください。

前回報告結果との比較
(事業者全体)

前回報告結果との比較
(特定事業所)

- (3) 報告書を出力します。

報告年月日を任意で設定する場合には右側に入力して下さい。

報告年月日 2019年5月12日 (自動) 報告年月日 (任意)

紙で提出する場合はあて先の事業所管大臣をプルダウンリストから選択してから、各様式の『印刷出力』ボタンを押してください。
フロン法電子報告システムで提出する場合は『提出用ファイル(XMLファイル)の出力』ボタンを押してください。

紙で提出する場合

あて先

様式第1(印刷出力)

様式第2(印刷出力)

フロン法電子報告システムで
提出する場合

提出用ファイル
(XMLファイル)の出力

2017年度算定漏えい量の報告書データが保存されました。

- (4) 次年度以降に過年度報告結果との比較を行うため、現在の入力内容を報告結果として保存します。

現在の入力内容を報告結果として保存

保存されている報告結果 2017年度漏えい量

⑤GWP変更(2018年度報告用⇒2019年度報告用)

5 GWP、算定対象年度の修正

2017年度算定漏えい量のデータが保存されたことを確認後、2019年度報告用(2018年度算定漏えい量報告用)のGWPを再度インポートし、漏えい量の算定対象年度を2018年度に修正します。

2017年度から、2018年度に修正します。

1. 漏えい量の算定対象年度の入力

西暦 年度

GWP(地球温暖化)

現在、本ツールに登録されている報告年度のGWPIになっている場合はフロン掛 (http://www.env.go.jp/e.../furon/)からGWP

GWPの更新

2018年度報告用のGWP

2019年7月31日までに提出する報告書の場合は、2019年度報告用のGWPをお使いください。

2. 事業者情報を入力

事業者情報の入力・編集シートで事業者情報を入力します。

[\(1\)事業者情報の入力・編集](#)

リンクをクリックすると、入力シートに移動します。

5 GWP、算定対象年度の修正

2019年度報告用(2018年度算定漏えい量報告用)のGWPに更新されていることを確認します。

フロン類算定漏えい量報告・公表制度 報告書作成支援ツール

ver.2.4

1. 漏えい量の算定対象年度の入力

西暦

2018

年度分の入力

漏えい年度(報告日の前年度)を入力してください。

例えば、2019年7月31日までに提出する報告書の場合は2018年度です。

GWP(地球温暖化係数)の更新

現在、本ツールに登録されているGWPの年度情報は、
報告年度のGWPIになっていない場合はフロン排出抑制法
(<http://www.env.go.jp/earth/furon/>)からGWPの更新ツールをダウンロードしてください。

2019年度報告用のGWPに変更されます。

GWPの更新

2019年度報告用のGWP

2019年7月31日までに提出する報告書の場合は、2019年度報告用のGWPをお使いください。

2. 事業者情報を入力

事業者情報の入力・編集シートで事業者情報を入力します。

[\(1\)事業者情報の入力・編集](#)

リンクをクリックすると、入力シートに移動します。

⑥2018年度算定漏えい量の報告書作成

⑦データ比較

7 データの比較

2018年度算定漏えい量の報告内容の入力が終わると、保存している2017年度算定漏えい量の報告書データとの比較が可能になります。メインメニューの「前回報告結果との比較(事業者全体)」「前回報告結果との比較(特定事業所)」から選択します。

5. 報告書の作成、出力

- (1) 報告書出力前に、報告書出力前チェックボタンを押して、記入漏れ等がないかチェックを行ってください。

報告書出力前チェック

- (2) 今年度報告対象となっている冷媒について、前回報告した冷媒別都道府県別算定漏えい量と比較して確認する場合は、「前回報告結果との比較」ボタンを押してください。

前回報告結果との比較
(事業者全体)

前回報告結果との比較
(特定事業所)

前回報告結果との比較ボタン
(事業者全体)

前回報告結果との比較ボタン
(特定事業所)

7 データの比較

事業者全体、特定事業所ごとに、2017年度算定漏えい量(前回)と2018年度算定漏えい量(今回)とのデータの比較が可能になります。

[メインメニューに戻る](#)

前回報告結果との比較：事業者全体

算定漏えい量(t-CO₂)

| フロンの種類 | (1) R-22 | | | (2) R-404A | | | (3) R-410A | | | 合計 | | |
|----------|-------------|--------|--------|---------------|--------|--------|---------------|--------|--------|------|--------|--------|
| | 対前同比 | 今回報告結果 | 前回報告結果 | 対前同比 | 今回報告結果 | 前回報告結果 | 対前同比 | 今回報告結果 | 前回報告結果 | 対前同比 | 今回報告結果 | 前回報告結果 |
| 特定漏えい者全体 | 1.00 | 362 | 362 | 1.00 | 784 | 784 | 1.00 | 627 | 627 | 1.00 | 1,773 | 1,773 |
| 東京都 | | | | 1.00 | 784 | 784 | 1.00 | 627 | 627 | 1.00 | 1,411 | 1,411 |
| 愛知県 | 1.00 | 362 | 362 | | | | | | | 1.00 | 362 | 362 |

[メインメニューに戻る](#)

前回報告結果との比較：特定事業所

算定漏えい量(t-CO₂)

| フロンの種類 | (1) R-404A | | | (2) R-410A | | | 合計 | | |
|--------|---------------|--------|--------|---------------|--------|--------|------|--------|--------|
| | 対前同比 | 今回報告結果 | 前回報告結果 | 対前同比 | 今回報告結果 | 前回報告結果 | 対前同比 | 今回報告結果 | 前回報告結果 |
| 東京店 | 1.00 | 784 | 784 | 1.00 | 627 | 627 | 1.00 | 1,411 | 1,411 |